

新人紹介

「石垣島での技師生活」

上原 亜伊佳

(沖縄県立八重山病院)

皆様、はじめまして、八重山病院検査科の上原亜伊佳です。私は、今年の4月から検査技師として働き始め、原稿を執筆している現在、技師歴はわずか3週間です。

本島出身の私は、石垣島での新生活、検査技師として働くことを楽しみに移住してきました。ですが、そんな浮足だった私を早くも苦しめたのは、ゴミの分別でした。石垣島はゴミの分別が厳しく、プラスチックはもえるごみ、資源ごみ、もえないゴミへ分別しなければなりません。生活が始まった当初は、分別のフローチャートを考えるほど困惑し、スーパーで食べ物を買って満足しては、残ったプラスチックを見て落ち込む程でした。ですが、石垣島は、気候だけでなく人も温かく住みやすい島です。最近、島野菜の直売所に立ち寄りたり、島内の観光スポットを巡りながら、休日を過ごしています。祭りや行事も多く、先日は石垣島トライアスロンを見物しましたが、いつか私も参加してみたいという夢ができました。

これは、石垣島あるあるですが、車で片道5分の距離は遠いと言われます。石垣島は、生活のほとんどが片道5~10分で完結するということもあり、空港には出発直前に到着するというのもよくある話のようです。

石垣島には、空港にスターバックスがあり、昨年はニトリができましたが、島唯一のコンビニはファミリーマートです。最近、ローソンのマチカフェやセブンイレブンのアイスが恋しくなることもあります。ここへ来てよりファミリーマートへの愛が大きくなりました。

今後、夏が本格的になり、より華やかな石垣島を堪能できるのが待ち遠しい限りです。

石垣島生活の紹介が長くなりましたが、私は現在夜勤研修のために検体検査で日々先輩方から業務を学んでいます。これまで必死に学んできたことが業務に活き、臨床へ還元されていく過程に重い責任感と、知識・技術の習得意欲を掻き立て

られます。疑問に思ったことは質問し、より検査への理解を深められるよう努力しています。素朴な質問へも丁寧に答えて下さる先輩方の姿勢は、より一層業務へ励むモチベーションになっています。

スペシャリストかつジェネラリストとしての技師の育成がよく聞かれますが、実務を通して、よりマルチに、幅広い視点から活躍する技師の重要性を痛感しました。

たった3週間ですが、業務に携わる中で、入職前に思い描いていた技師としてのプランや理想像が少しずつ変化し、より具体的になっていることを感じています。

私は今後、生理検査へ配属予定ですが、患者様と接する機会だけでなく、他部署との連携が増えていきます。検体検査とはまた違ったスキル、視点からの知識取得が求められます。八重山の地域性に沿った、付加価値の高い結果のフィードバックを目指し、業務の習得へ臨みたいと考えています。

私が目指す技師への道のりは、まだまだ長いですが、今後も先輩方の背中を追いかけながら、自己研鑽に励みたいと思います。

検査技師として道を歩み始めたばかりの私ですが、これからどうぞよろしくお願いいたします。

